

第10回海ごみサミット 2012亀岡保津川会議〈案〉

■ テーマ

『保津川がつなぐ ひと・まち・うみ』

～流域から海洋ごみの発生抑制を考える～

主催 一般社団法人 JEAN／亀岡市実行委員会
後援 環境省 国土交通省 経済産業省 総務省 観光庁 水産庁 ほか
委員 京都府 亀岡市自治会連合会 保津川の世界遺産登録をめざす会
保津川遊船(企) 西日本旅客鉄道(株) 嵯峨野観光鉄道(株) 亀岡商工会議所
亀岡市観光協会 保津川漁業協同組合 京都農業協同組合 京都学園大学
NPO亀岡人と自然のネットワーク NPOプロジェクト保津川 亀岡市

第10回海ごみサミット・2012亀岡保津川会議

事業の趣旨

海岸漂着ごみは、近年、国内外から大量に漂着する状況にあり、海岸の環境の悪化、美しい浜辺の喪失、海岸機能の低下を引き起こし、大きな社会問題となっていたところです。そこで、超党派による議員立法により2009年7月15日に「海岸漂着物処理推進法」が施行され、以後、その対策が進められてきました。

海岸漂着物対策については、海岸における「回収・処理」対策と陸域における「発生抑制」対策が両輪となって進めていくべきものでありますが、これまで、「回収・処理」を中心に対策が講じられており、「発生抑制」対策の必要性を指摘する声が大きくなってきているところでもあります。

そのような状況の中で、本市において、海岸線を有しない内陸部での初めての海ごみサミット「海ごみサミット2012亀岡保津川会議」を開催するものであり、漂着ごみ発生抑制対策の今後の発生抑制モデルを全国に発信し、内陸部から海ごみの減量化と被害の軽減を図ります。

事業の柱

- 内陸部での発生抑制対策としての『流域管理』の議論の提唱
- 内陸部自治体での発生抑制に向けた『協働』のスタイルの構築
- 身近な日常生活と漂着ごみの関連性の意識付けや次代を担うこども達への環境教育も見据えた『環境美化のまちづくり』への発展

第10回海ごみサミット2012亀岡保津川会議

開催日：2012年8月24日（金）から8月26日（日）

会場：保津川／ガレリアかめおか

【1日目】 保津川クリーンアップ活動とごみ調査

／in保津川

- 保津川クリーンアップ活動とごみ調査
保津川下りで保津峡へ

- 関連イベント“スポーツGOMI拾い”
【サミット本体事業とは区別】
市内小学生等によるゴミ拾いイベント
スポーツ性を取り入れた新しい感覚での
GOMI拾い&GOMI分析

歓迎レセプション 京の奥座敷 湯の花温泉

里山の休日 京都・烟河(けぶりかわ)
《多目的ホール》

- 湯の花温泉でおもてなし

【2日目】

全体セッション ガレリアかめおか大広間

- 午
前
の
部
- ★JEAN取組報告
 - ★調査報告(プレ事業の報告)
 - ★事例報告(京都府・国・OSEANの取組み報告)

- ★昼食(ビュッフェ形式)
フリートーク ~参加者交流の時間~
地産地消の食材を提供

- 午
後
の
部
- ★全体討議(コーディネーターによる進行)
 - 人の意識をどう変えていくかを考える
 - 社会のしくみづくりを考える

【3日目】

テーマ設定セッション ガレリアかめおか大広間

- ★『流域からの発生抑制』
~人の意識と社会の仕組みの両面から考える~
- ★琵琶湖淀川流域宣言
滋賀県~大阪府までの自治体を巻き込んだ
- ★亀岡保津川宣言
亀岡市として、1自治体としてできるまちづくりモデルの発信

【1日目】保津川クリーンアップ活動／歓迎レセプション

● 保津川クリーンアップ活動とごみ調査



保津川下りに乗船して
ごみ散乱ポイントの
● 清掃活動
● ごみ傾向分析

保津川遊船に乗船し、清掃活動を展開するとともに、ごみの構成の傾向を分析することで、内陸部河川からの海岸漂着ごみ対策も視野に入れた発生抑制に向けた事業展開への基礎データづくりを進める。

(データに基づく事業例)

量販店のレジ袋 (多) ➡ レジ袋有料化

ペットボトル (多) ➡ デポジット制の実証実験事業等

かめおか “スポーツGOMI拾い” 大会

2012.8.24 AM10:00~
第1弾スポーツGOMI拾い

2012.8.24 PM 1:30~
保津川クリーンアップ活動

保津大橋大会

保津峡

渡月橋大会

- 京都市との流域連携
- 上下流域での関連性と傾向分析

2012.10~11頃
第2弾スポーツGOMI拾い



● 歓迎レセプション 湯の花温泉（泊）

里山の休日 京都・烟河(けぶりかわ) ～多目的ホール～

温泉の効能

「湯の花温泉」

ホルモンバランスを整え、免疫細胞の活性化による効果があるとされる泉質です。肌からも呼吸からも吸収される温泉の恵みで、心身共に癒されます。

●泉 質 単純弱放射能温泉（天然ラジウム温泉）

●ラドン含有量（Rn） 46.0×10^{-10} キュリー / kg

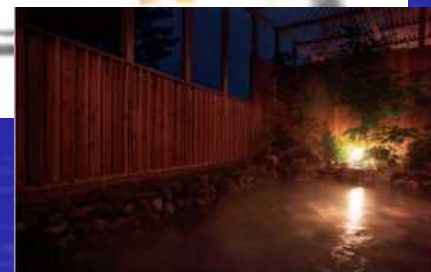
●効 能

◇一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

◇単純弱放射能温泉特有の適応症

痛風、動脈硬化症、高血圧症、慢性胆嚢炎、胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病



【2日目】全体セッション ～ガレリアかめおかコンベンションホール～

Ustreamによる情報配信

・ JEAN取組報告 9:35～

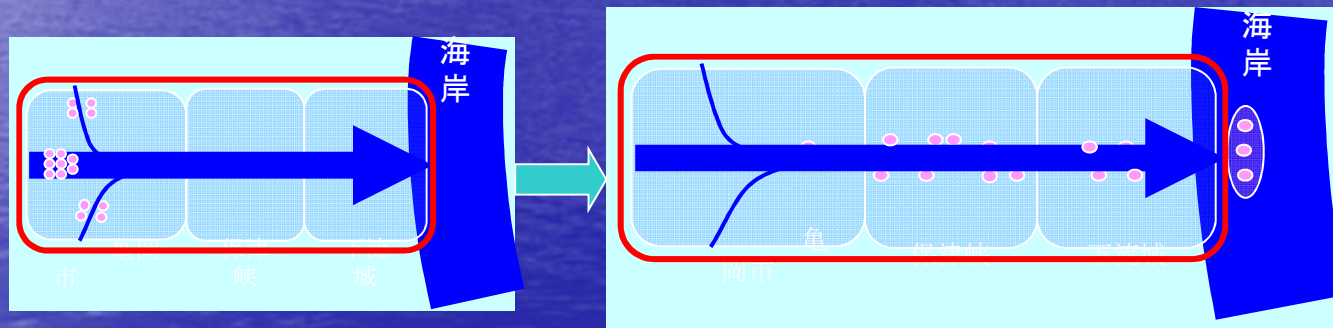
これまでの取組報告

・ 調査報告 9:55～

★プレイベントの報告

●漂着ごみツアー

●生分解性ペットボトル・木製フロート放流調査報告



①亀岡市からの事業実施報告

②こども海ごみ探偵団によるこども達の視点からの傾向分析
課題報告

★保津川クリーンアップ活動

※内陸部河川でのごみ調査報告

【2日目】全体セッション ～ガレリアかめおかコンベンションホール～

Ustreamによる情報配信

事例報告 10:35～

★漂着ごみ発生抑制対策の内陸型モデルの課題と検証

●河川管理者としての『発生抑制』の取組み及び海外の先進事例
京都府【都道府県レベル】10:35～

＜国土交通省【国レベル】10:55～

＜OSEAN(韓国の先進事例)【アジア諸国レベル】
11:15～

昼食 12:00～

★ビュッフェ形式 ～参加者の交流のひとつとき～

●食材メニュー 地産地消／クールベジタブル・亀岡の水
市内料理店や行事食研究会などの地元料理団体
とのコラボレーション

●会場内の展示物・芸術大学の海ごみアート作品展の見学

●保津川広報ビデオ『保津川とともに夢ある未来へ』上映


・ 全体討議  13 : 30 ~ 17 : 30

Ustreamによる情報配信

※コーディネーターの進行のもとに参加者がパネリストとなり会場が一体となった全体討議とする。

★人の意識をどう変えていくかを考える 13 : 30 ~ 15 : 30

コーディネーター : 川北さん

●国(国交省) / 都道府県 / 市町村 / 地域住民 / NPO / 企業の取組み
の話題提供 13 : 30 ~  各団体からの報告は、5分程度で

【亀岡からの報告案】  以下の事例を一例として、内容を精査して報告

- ・ 保津川遊船企業組合 “エコグリーン委員会の取組”
- ・ 自治会とNPOが連携したごみマップを活用した清掃活動
- ・ “河川改修と住民清掃活動「住民 / NPO / 行政の協働」”
- ・ 天然記念物 “アユモドキ保護活動”

※今後、JEAN・関係団体等と調整して先進事例をピックアップ

●ディスカッション 14 : 00 ~

午前中の事例報告や直前の話題提供をいただいたみなさんの
参加による全体フリーディスカッション

《 15 : 30~15 : 45 ティーブレイク 》

★社会のしくみづくりを考える 15 : 45~17 : 30


コーディネーター 川北さん

●ペットボトルのデポジット制度／拡大生産者責任について

○問題提起 環境省／経済産業省 15 : 45~

- ・ 環境省水大気環境局（漂着ごみ問題の主管）15 : 45~
- ・ 環境省廃棄物リサイクル対策部（デポジットの主管）15 : 55~
- ・ 経済産業省（デポジットの主管）16 : 05~

○ディスカッション 16 : 15~

- ・ 話題提供  ちっこ委員会/企業(コカ・コーラ等)/海外事例/研究者

【3日目】テーマ設定セッション～地方のメッセージを全国に～ ～ギャラリーかめおか大広間～

Ustreamによる情報配信

・ テーマ設定セッション 9:30～12:00

★『流域からの発生抑制』

～人の意識と社会のしくみの両面から考える～

ファシリテーター 島田 久仁彦さん

●前日までの振り返り 9:30

●流域での発生抑制に向けた意見交換

- ・ 今後将来に向かった流域での具体的対策・政策提言
各地域へ持ち帰り施策展開できる情報の共有
- ・ 海岸漂着物処理推進法の見直し議論の提唱

★琵琶湖淀川流域宣言 11:30

滋賀県から大阪府までの自治体を巻き込んで
流域全体での取り組みの第1歩として

★亀岡保津川宣言 11:40

亀岡市として、1自治体としてできるまちづくりモデルの発信

参加自治体の呼び掛け 流域の地域性を考慮し、特に以下の自治体に会議への出席案内文書を送付する。

●都道府県 京都府／大阪府／滋賀県／兵庫県／奈良県／三重県

●政令指定都市 京都市／大阪市

●京都府内市町村

- ・桂川流域 南丹市／長岡京市／向日市／大山崎町
- ・宇治川流域 宇治市
- ・木津川流域 城陽市／京田辺市／八幡市
- ・その他 京丹後市

※京都府内は、以下の市町以外の全市町村にも会議案内は送付する。

●大阪府内市町村

- ・淀川流域 大阪市／守口市／寝屋川市／摂津市／枚方市
高槻市／島本町
- ・隣接市町 茨木市／池田市／箕面市／豊能町

●兵庫県内市町村 尼崎市

イベント

- **市民海岸漂着ごみツアー**

★海岸漂着ごみの現状を知る

※漂着ごみへの意識を内陸から海岸まで『線』としてつなげる。

2回シリーズでの構成

市内小学校を通じ、亀岡市内の親子約30組の参加を募集

●保津川遊船に乗って保津峡の実態を知る!!

●瀬戸内海又は日本海へ市民バスツアー...海岸の現状を知る!!



このツアーで自分達の身近なところで発生するごみが保津川や海岸の漂着ごみとなっている実態を感じ、まずは、漂着ごみが自分達の問題であるという認識を持ってもらうことを目指す。

● 生分解性ペットボトル・木製フロート放流調査

★私たちの身近なごみは、どこまで流れているのか？

GPS付ペットボトルと木製フロートを使った放流実験

●漂着ごみの追跡調査と小学生の事業参加と市民の意識啓発に主眼

☞市内小学校等へ調査活動の協力依頼

【総合学習の一環としての木製フロートの製作及び放流ほか】

- ①市内小学校の総合学習の時間に漂着ごみの実態、その原因、そして内陸部で生活する私たちが考えなければならないことや出来ることをプレゼンテーションし、次代を担う子供達の意識啓発を行う。
- ②木製フロートに小学生が色を付け、メッセージを書き込むことで、木製フロートを完成させる。
- ③この木製フロートを回収し、6月上旬にGPS付ペットボトルと合わせ保津川支流数河川から放流する。放流に当たっては、日時を告知し、小学生の自由参加を募る。（☞学校の授業とは区別する。）

※この放流調査によって、詳細な実証データの分析の精度をどれだけ求められるかは未知数であるが、啓発イベントとしての側面を持たせる。

■ 生分解性ペットボトル・木製フロート放流計画



木製フロートサンプル

約15cm

約2.5cm

● こども海ごみ探偵団事業

★子供たちと一緒に海岸漂着ごみを考える!

- 市民漂着ごみツアーの参加の子供たちを海ごみ探偵団として漂着ごみの現状をそれぞれの視点で調査・記録してもらい、その課題を抽出する。
- こども海ごみ探偵団の中から、特派員数名を選び
 - ①生分解性ペットボトル・木製フロート放流調査に参加し、調査分析を行う。
 - ②海ごみサミット当日に参加願い、内陸部河川での漂着ごみの傾向分析・課題抽出の報告を行う。

《オプション事業》河川環境管理財団の助成金の採択状況を踏まえ...

○特派員養成講座の開講

○こどもと大人の寄合会議の開催

関連事業の実施フロー

